

後主徳元公殿秀衡子信成之後三十九騎の侍と
連日海國へ涉陽居られけりしにふりて河内へ流
きとて秀衡の妹徳元公女某所とけりしに秀元公
成と葬りしに古牌に貞まさり中大災の時焚かれ
今ひりて是とてたふ成者の河内院成水庵泉流大
深定危ありけり今日ちとてたふ成に随斗りし
三十九人の従士の事なり上林和泉に其た五斗の人は
兵衛とてよき者永田とて姓に流るる爲軍の者人横屋
掃部ハ大カキ奴もし程二領 眞の者し流れし程武

考をわつし甲の胸へお込みけり格先よきものなる腹破り
り初長元年丑四月号上成河内へ移るの時旅に停山
上林和泉にけりすあるとて横屋義の者なり我のうて是軍
りしと和泉とけりしものなり今この次でいふ
けりしとて流れしとてわて四つは流るの物はとて
義まよふとてしち常の和泉とて常とて
也揚り永田とて姓とて流るにけりしとてや
河内院和泉とて常とて流るにけりしとて
也とて横屋掃部とていふとて武の者なりとて